

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

(住所) 西東京市南町6-9-37 (電話) 042-462-2811

カラー版はホームページで

URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>



相手の立場に立って

先日の合唱コンクールは、ルネこだいらの大きなホールいっぱい、素晴らしい歌声が響き渡り、一生懸命な姿が、見ている人たちの心を揺さぶる感動的な一日になりました。

さて、11月は東京都が定める「ふれあい月間」です。一中でも6月と11月には「ふれあいアンケート」を利用して、いじめ防止や安心・安全な学校づくりに取り組んでいます。普段からもそうですが、この時期は改めて自分や周囲を振り返ってほしいと思います。

さて、そのような中で今回は私が心を打たれた金子みすゞさんの『大漁』という詩を紹介します。

朝焼け小焼けだ／大漁だ／大羽鰯(おおば いわし)の大漁だ。／浜はまつりの／
ようだけど／海のなかでは／何万の／鰯のとむらい／するだろう
(『金子みすゞ童謡全集』JULA 出版局)

大漁の喜びに沸く浜辺では、漁村をあげてのお祭り騒ぎだったことでしょう。港へ帰る船は大漁旗を掲げ、漁師さんたちの顔は意気揚々として、港で待つ家族の誰もが笑顔で満ちあふれている光景が目に見えそうです。魚がたくさん獲れた喜びがよく伝わってきます。

しかし、みすゞさんは、その情景の中で一人だけ魚の側に立って、獲られた魚の悲しみを見つめています。「とむらい」とはお葬式のことをいいます。人間は、とにかく自分中心に考えがちですが、みすゞさんは、食べる人間も食べられる魚たちも同じ命をもっていることに気づき、人と魚の両方の心を詩に託したのでしょう。私は、みすゞさんの人間中心でない物の見方・考え方に改めて気づかされることがありました。

みなさんも、「相手の立場に立ってものを考えることが大切だ」とよく耳にするでしょう。けれども、普段の生活の中では、自分中心の考え方で相手の気持ちを考えられないことや、自分では気づかないうちに相手を傷つけてしまうことがあるかもしれません。クラスや仲間の間で、ある人たちばかりが喜んで、一方で嫌な思い、悲しい思いをしている人はいないでしょうか。

自分が楽しいときや、自分でうまくいっていると思ったときは、どうかこの詩を思い出してください。笑顔のあなたのその裏で、「とむらい」をしている鰯はいないでしょうか。今回紹介した詩を常に頭において、相手の立場に立ち、人や生き物への優しさ・温かさをもった人になってほしいと願っています。

【3 学年】修学旅行（10月8日、9日、10日）

10月8日～10月10日の3日間で、3学年の修学旅行が行われました。1日目は奈良公園での班行動、2日目は公共交通機関を利用した京都での班行動、3日目はタクシーを利用した京都での班行動でした。班行動や宿での生活を通して仲間との絆が深まり、思い出に残る3日間になったと思います。

また、11月5日（火）には事後学習として、各教室で発表会を行いました。班ごとに設定した探究テーマに沿って、実際に奈良・京都を観光して分かったことを西東京市に生かすための方法を、様々な視点で考えることができました。保護者の皆様、発表会のご参観ありがとうございました。



【全学年】合唱コンクール（10月21日）

10月21日（月）に、ルネこだいらにて合唱コンクールが行われました。今年度は学校の体育館ではなく大きなホールで歌うということで、期待と不安の中、教員も生徒も今まで以上に準備を重ねました。当日は、どのクラスもステージ上でのびのびと歌うことが出来ました。

保護者の方々におかれましては、ご多用の中合唱コンクールへのご参観ありがとうございました。各学年入れ替え制での参観ということでご迷惑をおかけする部分が多かったと思いますが、ご協力、誠にありがとうございました。



【全学年】ピアノ巡回公演会（10月25日）

10月25日（金）に、東京田無ロータリークラブのご協力により、ピアニストの佐藤恵美さんによるピアノコンサートが学年ごとに行われました。誰もが知っている有名な曲の演奏とともに作曲家の紹介をしていただきました。合唱コンクールの後ということもあり、多くの生徒がピアノの音色や曲の美しさに聞き入っていました。

また、生徒がサイコロを振り、何通りもあるフレーズを組み合わせて世界に一つだけの曲を作り、その曲の演奏もしていただきました。あっという間の50分間で、改めて音楽の楽しさを感じるピアノコンサートになりました。

